

数量計算書（測量業務）

山田ため池

種 別	細 目	算 式	数量	単位	備 考
<b>【打合せ業務】</b>					
業務打合せ	着手前（測量業務）		1	回	
<b>【路線測量】</b>					
現地踏査	平地・耕地		0.05	km	
横断測量	測量幅50m平地・耕地	堤体の代表断面 測量幅50m程度	0.05	km	
<b>【旅費・交通費】</b>					
旅費・交通費	測量業務打合せ 2時間以内	着手前	1	回	

数量計算書（設計業務）

山田ため池

種 別	細 目	算 式	数量	単位	備 考
【設計業務】					
設計数値及び基本断面の検討	堤高4.0m、設計堤長53m全面改修		1	箇所	
堤体の安定計算	堤高4.0m、設計堤長53m全面改修		1	箇所	
浸透流の検討	堤高4.0m、設計堤長53m全面改修		1	箇所	
点検取りまとめ		作業量による補正あり	1	箇所	
照査		作業量による補正あり	1	箇所	
【調査解析業務】					
[打合せ業務]					
業務打合せ	着手前（解析等調査業務）		1	回	
業務打合せ	中間（解析等調査業務）		1	回	
業務打合せ	最終（解析等調査業務）		1	回	
[地質・土質調査解析]					
既存資料の収集・現地調査	解析	土質ボーリング2本	1	業務	

数量計算書（設計業務）

山田ため池

種 別	細 目	算 式	数量	単位	備 考
資料整理取りまとめ	解析	土質ボーリング2本	1	業務	
断面図等の作成	解析	土質ボーリング2本	1	業務	
総合解析とりまとめ		土質ボーリング2本 試験種目5種	1	業務	
<b>【旅費・交通費】</b>					
旅費・交通費	設計業務打合せ 2時間以内	着手前1、中間1、最終1	3	回	

数量計算書 (地質調査業務)

山田ため池

種 別	細 目	算 式	数量	単位	備 考
地質・土質調査業務		調査ボーリング N=2箇所			
直接調査費					
<b>【ボーリング調査】</b>					
地質調査 土質ボーリング	φ86mm 粘性土・シルト	①堤体高4.0m+②堤体下流側中間部2.0m	6.0	m	
地質調査 土質ボーリング	φ86mm 礫混じり土砂	①基礎地盤下4.0m+②基礎地盤下4.0m	8.0	m	
地質調査 現場透水試験	ケーシング法 GL-10m以内	堤体頂部1回+堤体下流側1回	2	回	
地質調査 サンプルング	シンウォールサンプルング		2	本	
地質調査 標準貫入試験	粘性土・シルト 1.0m/回	①堤体高4.0m+②堤体下流側中間部2.0m	6	回	
地質調査 標準貫入試験	礫混じり土砂 1.0m/回	①基礎地盤下4.0m+②基礎地盤下4.0m	8	回	
<b>【室内試験】</b>					
土粒子の密度試験	1資料につき3個	堤頂コア+下流側コア	2	試験	
土の含水比試験	1資料につき3個	堤頂コア+下流側コア	2	試験	
土の液性限界試験	粘土・粘性土 1資料につき6個	堤頂コア+下流側コア	2	試験	

数量計算書（地質調査業務）

山田ため池

種 別	細 目	算 式	数量	単位	備 考
土の塑性限界試験	粘土・粘性土 1資料につき3個	堤頂コア+下流側コア	2	試験	
三軸圧縮試験 (間隙水圧測定有)	力学的試験 圧密非排水試験 (C U b 試験) 供試体35mm	サンプリング試料	2	試験	
土の粒度試験 (1)	沈降分析	堤頂コア+下流側コア	2	試験	
土の粒度試験 (2)	ふるい分析試料0. 5 k g 以下	堤頂コア+下流側コア	2	試験	
土の湿潤密度試験	1 資料につき 3 個 (A 法寸法測定法)		2	試験	
<b>【解析等調査】</b>					
資料整理取りまとめ	一般	ボーリング本数 2本	1	業務	
断面図等の作成	一般	ボーリング本数 2本	1	業務	
<b>【調査業務直接経費】</b>					
地盤情報データベース 登録検定費		ボーリング本数 2本	1	式	
<b>【運搬費】</b>					
現地搬入搬出費	基地～ため池往復L=12km想定		1	回	
<b>【準備費】</b>					

数量計算書（地質調査業務）

山田ため池

種 別	細 目	算 式	数量	単位	備 考
準備及び跡片付け			1	業務	
調査孔閉塞	ボーリング孔閉塞		2	箇所	
<b>【仮設費】</b>					
地質調査 足場	平坦地足場		1	箇所	
地質調査 足場	傾斜地足場地形傾斜30° ~45°		1	箇所	
<b>【旅費・交通費】</b>					
旅費・交通費	外業日帰		7	回	